

2020年（令和2年）度 関東学生柔道体重別選手権大会（男子59回 女子33回）  
大会要項

1. 大会名 2020年（令和2年）度 関東学生柔道体重別選手権大会（男子59回 女子33回）
2. 主催 関東学生柔道連盟
3. 後援 関東柔道連合会、埼玉県柔道連盟 （一社）全日本学生柔道連盟
4. 日時 2020年12月22日（火）  
開場：8時～ 開始式：9時30分 試合開始：10時00分
5. 会場 埼玉県立武道館（埼玉県上尾市日の出4-1877 電話：048-777-2400）
6. 実施階級 男女とも7階級にて実施する。
7. 競技規則 (1) 参加資格
  - ①（一社）全日本学生柔道連盟の法人正会員である柔道部の在籍者であり、（公財）全日本柔道連盟に登録済の者。
  - ②関東の国公立大学または短期大学に在籍の者。
  - ③在学中、実業団その他の職域チームに所属し、その大会（試合）に出場していない者。
  - ④2年生においては、1年次の修得単位数が20単位以上の者。  
3年生においては、2年次までの修得単位数が40単位以上の者。  
4年生においては、3年次までの修得単位数が70単位以上の者。  
上記以外の者で「特例措置」に該当する者については、所定様式の提出があり、確認ができた者については出場を認める。この詳細については、「単位修得報告書」データ内の「適用方法」を参照のこと。
  - ⑤初心者の登録については、「全柔連発第19-0040 初心者の投込み、乱取りおよび試合までの期間について（<http://www.judo.or.jp/wpcontent/uploads/2019/03/beginner-nagekomikikan201903.pdf>）」にある「試合に出場するまでは、6ヶ月経過後」を遵守すること。
  - ⑥所属する大学または地域が、全柔連発「段階的活動指針」における「第3段階」で4週間以上の活動を継続して行っている、または「第4段階」に移行していること。
- (2) 試合方法  
試合は階級毎のトーナメント方式で実施。試合時間は男女とも4分とする。
- (3) 審判規定  
本大会は国際柔道連盟試合審判規定（2018-2020）を準用し、その細目については別途定める。なお2020年2月28日に発信されている「全柔連発第19-0967号 新たに適用される罰則（指導・反則負け）」について、本大会でも適用するため、各大学において周知徹底すること。
- (4) 柔道衣

(公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。なお出場選手全員が白色柔道衣を着用する。(青色柔道衣は使用しない。)

(5) ゼッケン

出場選手は、必ず所定のゼッケンを柔道衣に付ける。なお、スポンサーゼッケン入りや現所属以外のものは認めない。

(6) 紅白帯

紅白帯は、各大学で必ず準備すること。

(7) 新型コロナウイルス感染症対策として、入場制限を設ける。詳細については、「18. 新型コロナウイルスへの対応について」を参照のこと。

8. 出場枠 男女とも出場総数を「16名」とし、1階級あたりの出場上限数を「3名」とする。

9. 表彰 男女とも、優勝から3位(2名)までを表彰し、ベスト8進出者には優秀選手賞を授与する。(ただし登録選手が16名を超えない場合は、3位までの表彰とする。)

10. 選手計量 計量は前日計量とする。ただし申し込み時、またはそれ以降に特別な理由により当日計量を希望する選手は、所定の申請書類およびその理由を証明できるものを提出し、認められた場合のみ許可する。

場所：埼玉県立武道館1階サブ道場(男子)、第2会議室(女子)

21日(月) 16時00分～16時30分(予備計量)

16時30分～(公式計量を階級毎に実施)

22日(火) 8時15分～8時45分(公式計量のみ)

※計量会場の変更がある場合は、その都度連絡する。

11. 審判員及び審判講習会

審判員は31名とし、原則として各大学のC級ライセンス以上を有している指導者が担当する。なお人数に満たない場合は外部委嘱にて補充する。

なお審判員登録者は、12月22日(火)8時45分から第1会議室で行う審判講習会に必ず出席すること。

12. コーチングについて

本大会では選手の自主性および飛沫防止の観点から、コーチングボックスを設置しない。また試合中の選手に対し、「館内全ての者」からのコーチングを禁止する。審判員を担当しない指導者は、自チーム選手に対し周知徹底すること。

13. 参加申込 (1) 申込方法

当連盟HPより大会申込データをダウンロードする。必要事項を漏れなく入力し、以下のアドレスまで送信する。

申込アドレス：[sakiyama@jiu.ac.jp](mailto:sakiyama@jiu.ac.jp) 関東学生柔道連盟事務局 秋山宛  
注意事項として

①申込受理後の階級変更は一切認めない

②事前に当日計量を希望することが判明している場合は、申込時に申告

すること。

(2) 申込期限

2020年11月11日(水)より

2020年11月25日(水)正午まで ※期限厳守のこと

※申し込みデータは11月4日(水)に学連HPに掲載する。

(3) 参加費

選手1名につき2,000円(保険料含む)とする。各大学主務は、全参加選手の参加費を取りまとめ、**11月27日(金)**までに下記口座へ大学名で振り込みを行うこと。なお振り込みの確認が取れない場合、本大会への出場を認めない場合があるため注意すること。

ジャパンネット銀行 ビジネス営業部

普通 3235437 関東学生柔道連盟 会計 今井学

(4) 選手変更

選手変更は、参加申込をしている選手が負傷欠場する場合のみ、医師による診断書を添付の上、所定の様式を用いて提出することによって認める。締め切りは、大会前日の代表者会議前までとする。

14. 組合抽選 12月1日(火) 17時30分より、城西国際大学2階会議室にて実施する。

この模様はオンラインにて公開するので、視聴希望大学は事前にオンライン会議用のID申請を行うこと。

なお本大会でのシード枠については、別に定めるシード基準の「前年度成績」を対象とする。また2年生以上で前年度から出場階級を変更した場合、シード基準の対象から除外される。

15. 代表者会議 代表者会議を 12月21日(月) 17時30分から埼玉県立武道館アリーナにて行う。各大学代表者1名は、試合上の注意事項の伝達、特に新型コロナウイルス感染対策についての連絡を行うので必ず参加すること。参加が確認できない場合、本大会への出場を認めないことがある。

16. 事故処置 主催者は、大会出場選手の傷害に対して傷害保険に加入し、負傷の際には応急処置施すがそれ以外の責任は負わない。なお選手は当日保険証(コピー不可)を持参すること。

17. 大会事務局 〒283-8555

千葉県東金市求名(ぐみょう)1番地

城西国際大学内 関東学生柔道連盟事務局 担当 秋山修一

TEL: 0475-55-8800 (大学代表) E-mail: [sakiyama@jiu.ac.jp](mailto:sakiyama@jiu.ac.jp)

18. 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスへの対応として、

- ・会場内への入場を「総数 500 名未満」に制限する。1 チームの入場者数は**上限 20 名**とし、入場できる対象者は「指導者、選手、主務」のみ。主務は人数をまとめ、総数を別に定める様式にて大会事務局に報告すること。なお報告上の注意点として
  - a) 指導者については、帯同審判員となる者を含む。
  - b) 審判を担当しない指導者の登録は1名までとする。
  - c) 男女別の場合は、主務を各1名で登録できる。
  - d) 付き人や選手外の学生の入場は認めない。また無観客での実施であり、  
父母等の応援の入場も認められないため、各大学で周知徹底すること。
- ・参加者は全員マスクを着用。また消毒液を持参し、こまめに手指の消毒を行うこと。(必ず各大学で準備すること。)
- ・大会当日、関係者(選手、指導者、役員、審判員、係員)は必ず全員が検温を行うこと。また各大学の部長あるいは監督は、所属関係者全員の体調について確認した上で、別に定める大会2週間前までの健康記録表を提出すること。
- ・来場者全員、入館時に検温を行い、37.5℃以上の発熱を検知した場合は、会場内へ入ることはできない。
- ・観覧席について、事前に大会事務局で指定した場所以外への着席を禁止する。また通路等での立ち話や、試合終了者がアリーナ内に留まることは厳に慎むこと。
- ・**7試合毎**に畳の消毒を行う。選手は作業が終わるまで畳に上がらないこと。
- ・その他、全柔連発「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針(2020.7.27)」の「4. 試合上の留意点」に沿って運営する。**なお上記以外の詳細事項については、決定次第参加校に通知する。**

#### 19. その他 <皮膚真菌症について>

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行う。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止する。(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)

#### <脳震盪について>

大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。なお大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。また当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

#### 20. 事務連絡 <会場設営・撤収の協力について>

12月21日(月)16時30分より会場設営を公式計量と並行して実施します。  
公式計量は階級毎に呼び出しをするので、呼び出された階級の出場者以外は  
設営を行ってください。

また大会終了後には撤収作業を行いますので各大学の協力をお願いします。

併せて引率の先生方におかれましては、指示出しなど担当頂きますようご協力を  
をお願いします。

<個人情報の取扱いについて>

提出された単位取得報告書については、関東学生柔道連盟事務局が大会参加資格の確認以外に利用することはありません。また関東学生柔道連盟事務局内にて厳重に管理をいたします。また、申込時に記載された個人情報、試合中に撮影された写真等は、大会プログラムや結果として当連盟HPに掲載されます。また報道機関等の各種メディア媒体に公開される場合があります。本申込をもって、前記の取り扱いについて承諾されたものとして対応させていただきます。

以 上